

都市再生整備計画 事後評価シート

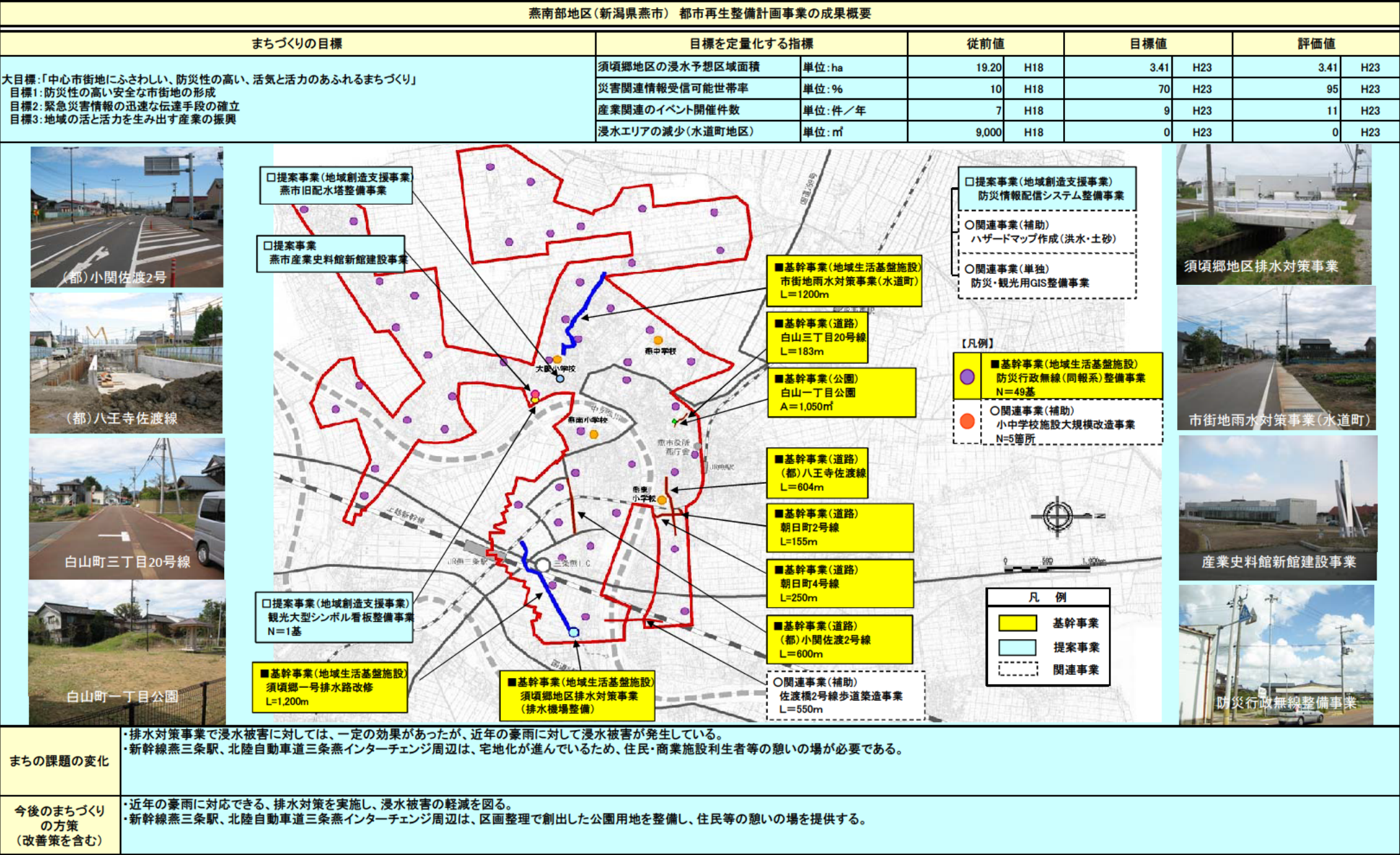
燕南部地区

平成24年2月
新潟県 燕市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	燕市		地区名	燕南部地区			面積	990ha			
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	4,804百万円	国費率	0.407					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路((都)小関佐渡2号線、(都)八王寺佐渡線、白山町三丁目20号線)、公園(白山町一丁目公園)、地域生活基盤施設(須頃郷地区、須頃郷一号排水路、防災行政無線)											
		提案事業	地域創造支援事業(燕市産業史料館新館建設事業、観光大型シンボル看板整備事業、防災情報配信システム整備事業)											
		事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(佐渡橋)				関連事業(佐渡橋2号線歩道築造事業)で実施した。			影響なし				
		提案事業	地域創造支援事業(防災マップ作成事業)				関連事業(ハザードマップ作成事業)と内容が類似しているため。			影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(朝日町2号線、朝日町4号線) 市街地雨水対策事業(水道町)				道路：(都)八王寺佐渡線が3年間の全面交通止めとなるため、迂回路として整備 市街地雨水対策事業：降雨による道路冠水が発生しているため追加			道路：影響なし 市街地雨水対策：指標4を追加				
		提案事業	地域創造支援事業(燕市旧配水塔整備事業)				地域住民の要望をうけ追加			影響なし				
	交付期間の変更	当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更												
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値 基準年度		目標値 目標年度		数 値 モニタリング 評価値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
指標1		須頃郷地区の浸水予想区域面積	ha	19.20	H18	3.41	H23		3.41	○		須頃郷地区排水対策、一号排水路改修事業により一定の効果があった。しかしながら近年の大量な降雨で、浸水被害が発生している。		
指標2		災害関連情報受信可能世帯率	%	10	H18	70	H23		95	○		設置個所の見直しを行った結果、概ね全域が受信可能となった。		
指標3		産業関連のイベント開催件数	件/年	7	H18	9	H23		11	○		既存施設との一体利用及び道路網の整備の相乗効果により利用者数が増加した。	平成24年4月	
指標4		浸水エリアの減少(水道町地区)	m	9,000	H18	0	H23		0	○		排水対策により浸水被害に一定の効果があった。	平成24年4月	
指標5														
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度		目標値 目標年度		数 値 モニタリング 評価値		目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の数値指標1	自主防災組織数	組織	7	H18				25			啓蒙活動、事業の効果により組織数が増えた。	平成24年4月	
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	・本事業の道路整備等により、北陸自動車道三条燕IC及び上越新幹線と市街地・工業団地を結ぶ道路の渋滞緩和となった。また市街地と病院施設・避難所の移動が容易になった。 ・産業資料館新館、燕市旧配水塔の整備により、施設の運営・利活用に住民の会ができるなど施設に関する意識が高揚した。													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	須頃郷地区排水対策検証会				都市再生整備計画に記載し、実施できた						近年の豪雨に須頃郷地区が浸水被害が起きているため、更なる排水強化を図る。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					●			
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	燕の水道の搭を愛する会				都市再生整備計画に記載し、実施できた						利活用事業の中心的役割を担ってもらう。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					●			
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築	燕産業史料館運営委員会				都市再生整備計画に記載し、実施できた						今後も利活用に關し提言をいただき施設運営強化を図る。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					●				
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要



都市再生整備計画 フォローアップ報告書

燕南部地区

平成25年3月

新潟県燕市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	須頃郷地区の浸水予想区域面積	ha	19.20	3.41	3.41	確定 見込み	● ○	あり なし					☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	須頃郷排水対策、一号排水路改修事業により効果があった。しかしながら近年の大量な降雨で、浸水被害が発生している。
指標2	災害関連情報受信可能世帯率	%	10	70	95	確定 見込み	● ○	あり なし					☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	設置箇所の見直しを行った結果、概ね全域が受信可能となった。
指標3	産業関連のイベント開催件数	件/年	7	9	11	確定 見込み	○ ●	あり なし	11	H24年10月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	既存施設との一体利用及び道路網整備の相乗効果により利用者が増加した。
指標4	浸水エリアの減少(水道町地区)	m ²	9,000	0	0	確定 見込み	○ ●	あり なし	0	H24年10月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	水路改修等の排水対策により浸水被害に効果があった。
指標5						確定 見込み	 	あり なし					☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	自主防災組織数	組織	7		25	確定 見込み			27	H24年5月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	啓蒙活動、事業の効果により災害に対する住民意識が高まり組織数が増加した。
その他の数値指標2						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	産業・観光拠点の利活用	産業史料館運営委員会を開催し、事業の充実を図った。	彫金体験教室を実施し、市民から燕の産業について体験してもらうとともに、産業を通じた交流が図れた。	運営委員会を中心に更に史料館の充実を図る。
改善策	近年の降雨に対する排水対策	近年の大雨による浸水被害の対応策を計画した。	平成25年に都市再生整備計画を作成し、事業を実施している。	都市再生整備計画のに基づき、近年の降雨に対応する、排水路整備・調整池を設置する。
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	憩いの場の創設	未整備の公園用地の整備計画を策定した。	平成25年に都市再生整備計画を作成し、事業を実施している。	都市再生整備計画のに基づき、公園整備を実施する。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項